

令和7年度 木曽三川流域 開放講座

参加費
無料

演 題

赤須賀船の話 - 北勢と熊野灘の漁村を繋いだ船 -

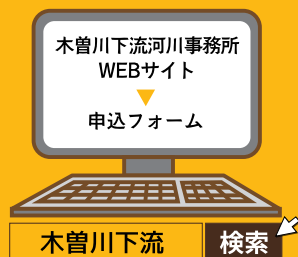
講 師

鳥羽市立海の博物館 館長 平賀 大蔵

木曽三川流域開放講座は、“木曽三川 歴史・文化の調査研究資料”^{きっそ}「KISSO」とともに、木曽三川の治水、利水、環境、文化について学んでいただくための講座です。

志摩半島から熊野灘沿岸の浦々の村では、桑名の赤須賀からやってくる船を赤須賀船と^{あかすかぶね}呼んでいました。「赤須賀船の話 - 北勢と熊野灘の漁村を繋いだ船 -」と題した今回の講座では、赤須賀と熊野灘の漁村での聞き取りをもとに話を進めます。

申込方法



■二次元コードまたは
木曽川下流河川事務所WEBサイト
から河川財団WEBサイトの申込
フォームにアクセスして、申込を
してください。



[https://www.kasen.or.jp/r07kaihou_kouza.html]

2025年

8/31日

13:30~15:30
【13:00 受付開始】

申込期間：7月1日(火)~8月20日(水)
※ 先着順で、定員になり次第締切ります。



桑名市龍福寺(浜の地蔵)に立つ
第三号勢寶丸遭難供養大地蔵

定 員

100名(先着順)

会 場

くわなメディアライヴ
多目的ホール

三重県桑名市中央町三丁目79番地
TEL：0594-23-1881

交通アクセス

近鉄・JR桑名駅より徒歩6分
東名阪自動車道 桑名ICから車で約5分

※会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
※申込後、受付整理番号をメールでお送りします(当日、番号の控えをお持ちください)。

主 催

国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所 <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

後 援

桑名市 / 桑名市教育委員会

問合せ先

公益財団法人河川財団 名古屋事務所 開放講座事務局 TEL：052-963-5533

※公益財団法人河川財団は、木曽三川流域開放講座に関する企画・運営・管理について、国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所より委託を受けています。

講師プロフィール

ひらが だいぞう
平賀 大蔵

鳥羽市立海の博物館 館長

海と人間の情報誌「海とにんげん&SOS」の編集人

専門：漁村民具、三重県漁業史、海の問題環境問題

1953年9月 三重県度会郡南島町（現南伊勢町）生まれ
1981年4月から海の博物館の学芸員として45年間、三重県内の漁村をまわり漁撈用具などの漁村資料の収集や保存、調査に携わり、海と日本人のかかわりやその歴史について研究している。

著作報告等：「海で生きる赤須賀」、「伊勢湾は豊かな漁場だった」、「三重県漁船の動力化の始まり」など

現在：桑名市文化財保護審議会委員、三重県干潟藻場懇談会構成員、三重県栽培漁業協議会委員、
鳥羽市海洋教育検討委員会委員



今回の開放講座「赤須賀船の話ー北勢と熊野灘の漁村を繋いだ船ー」



引本神社社標に刻まれた赤須賀船の名称

あかすかぶね

赤須賀船とは、桑名の赤須賀からやってくる船のことで、志摩半島から熊野灘沿岸の浦々の村で呼ばれた名称です。

赤須賀船には、熊野灘沿岸の漁村や漁師たちから魚を買い付けて桑名方面に運んで市場で売る「ナマブネ」と呼ばれた活魚運搬船、また桑名で仕入れた米や日用品などを熊野方面に運んで売り、その帰路には炭や薪などを桑名方面に運んできて売った「コメブネ」と呼ばれた商いをする運搬船の二種類の船がありました。

これらの赤須賀船について、赤須賀と熊野灘の漁村での聞き取りをもとに話を進めます。

木曾三川 歴史・文化の調査研究資料「KISSO」



<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/KISSO/index.html>

「KISSO」のバックナンバーは、木曾川下流河川事務所のWEBサイトで公開しています！

VOL.133には、平賀氏の研究資料（当開放講座演題と同じ標題）が掲載されていますので、是非ご覧ください。

木曾川下流河川事務所公式YouTubeチャンネル



<https://www.youtube.com/channel/UCSOKTELZR98zv6nIVQyleQ>

開放講座の紹介動画を公開しています！

「KISSO」のオーディオブック版も公開していますので、是非アクセスしてみてください。